株式会社秋東精工

東京都江戸川区

生産性向上　需要獲得　担い手確保　ものづくり　サービス

ポイント 日本初のプラモデルの金型を製作した創業者長年培ったノウハウと職人の技術によって日本のプラモデルを支えている

○同規模の同業他社に先駆けた「3D プリンタ」の導入による新生産プロセスの創設
○江戸川区内の事業者が協力し「純国産アーチェリー」の復活を目指す
○「環境活動方針」を策定し、従業員を 2 チームに分けて改善の競争力を仰ぎながら推進する体制を構築

企業基本情報

所在地	東京都江戸川区船堀 3-10-22
電話 /FAX	03-3680-3151/0336863761
URL	http://www.syuto.jp/
代表者	代表取締役 柴田　忠利
設立	1978 年
資本金	1,500 万円
従業員数	18 人

会社概要

同社は東京都江戸川区に本社工場を持つプラモデルを中心としたインジェクション金型の設計・製作会社。国産初のプラモデルを販売した玩具メーカーの金型を作ったのが、初代社長である柴田幹雄現会長である。2 代目社長となる現社長に経営のバトンが渡され、自社を「お客様に笑顔とエンターテインメントを提供する会社」と位置付け、廃棄物が出ないエコプラモデルの製造等、新しい取り組みにも積極的にチャレンジし、更なる飛躍を目指している。

会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

3D プリンタ導入による短納期かつ低コスト化の実現

増大する産業用小ロットのプラモデル需要に応えるべく、同規模の同業他社に先駆けて 3D プリンターを昨年に導入した。新たに 3D 造形デザイン事業部を立ち上げ、樹脂製品の試作や 1 点物の製作の依頼に対応している。高いデザイン力と長年のノウハウを数値化する技術を有していることから、精度の高い設計データを作り出すことが可能であり、短納期かつ低コストで付加価値の高い製品供給を実現している。

3D 造形デザイン事業部の案内

江戸川区内の事業者で協力し、純国産アーチェリーを計画

純国産アーチェリーを開発して東京オリンピック・パラリンピック 2020 大会を目指す「プロジェクト SAKURA」に参加している。

プロジェクト SAKURA では江戸川区の卓越した技術を持つものづくり企業が集結し、オール江戸川で純国産のアーチェリーの開発を目指しており、同社はアーチェリーのプラスチックパーツ部の開発を担当している。テレビ番組に取り上げられるなど世間からの注目度も高くなっている。

純国産アーチェリー「プロジェクト SAKURA」

社員のリーダーシップを発揮した環境・CSR 活動

企業理念や事業概要を踏まえた「環境活動方針」を策定し、従業員を 2 チームに分けて改善の競争力を仰ぎながら推進する体制を構築している。照明や OA 機器の省エネルギー化をはじめ、廃棄物の分別ルールを取り決め、廃棄物の計量を行っている。化学物質・材料品質管理の徹底のため、MSDS とミルシートを全ての該当製品に入手している。

また、CSR の一環として、毎週明けの朝に会社周辺の清掃活動を行っている。

さらに江戸川区が推奨する「エコカンパニーえどがわ」の認定を受けている。

「エコカンパニーえどがわ」登録証